

公益財団法人さんりく基金
令和3年度第2回評議員会 議事録

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 令和4年2月2日(水) 午後1時25分から午後2時10分
- (2) 場所 岩手県医療局会議室(盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎5階)
及びWeb会議システム「Zoom」

2 評議員の現在数 評議員7名

3 出席者

- (1) 評議員 菊池 透
評議員 熊谷 泰樹

以下の出席者は、Web会議システム「Zoom」により参加した。

- 評議員 桐田 教男
- 評議員 澤里 充男
- 評議員 志田 努
- 評議員 晴山 真澄
- 評議員 水野 雅裕

(2) 役員

- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 業務執行理事 | 高橋 一志 | 業務執行理事 | 箱石 知義 |
|--------|-------|--------|-------|

(3) 事務局

- | | | | |
|------------|-------|-----------|-------|
| 事務局長 | 箱石 知義 | 事務局次長 | 及川 有史 |
| 三陸DMOセンター長 | 高橋 一志 | 総務管理部長 | 本多 牧人 |
| DMO事業部長 | 高橋 孝政 | DMO事業部副部長 | 鈴木 静子 |
| 総務管理部副部長 | 藤原ひろみ | 事務局員 | 田村 優子 |
| 事務局員 | 川村 泉 | | |

4 欠席者

なし

5 議長

菊池 透

6 決議事項

第1号議案 令和4年度事業計画及び収支予算について

7 議事の経過

午後1時25分開会した。

冒頭、Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、議事を開始した。箱石業務執行理事が、評議員現在数7名中本人出席7名により定款第20条に定める定足数を満たしており、本評議員会は成立した旨を告げた。

以降の進行は、菊池議長により進められた。

なお、議事録署名人について、議長一任とされたので、議長は熊谷評議員と水野評議員の2名を指名した。

報告事項1「職務執行の状況について」

箱石業務執行理事及び高橋業務執行理事が執行状況を報告した。
議長が報告について質問、意見を求めたが、特に発言はなかった。

報告事項2「公益目的事業の統合について」

本多総務管理部長が報告した。
議長が報告について質問、意見を求めた。

【桐田評議員】

公益事業1から5までの区分を一つにするということによろしいか。

【本多総務管理部長】

おっしゃる通り、一つにまとめるということ。今は公1から公5で区分し、それぞれ収支の管理もしているが、公益法人の会計で定められた収支相償を満たさなければいけないというルールがあり、共通にかかる経費を都度振り分けたり、特定区分で収入があった際は、他の区分事業では使えないということがあった。やることは同じだが、一つの区分にまとめて県に変更申請を行い、承認を頂いた上で、横断的に、人的リソースや財源を活用しながら、より柔軟に対応できるようにしたいというもの。

【桐田評議員】

今後の収支予算や事業報告は、5区分がそのまま踏襲されるということによろしいか。

【及川事務局次長】

実施事業そのものに変更はない。今までは事業毎の決算のような形でやっていたものが、事業毎ではなく全体で一つの会計ということになる。

【桐田評議員】

後程の議案「令和4年度事業計画」の中で、改めて、令和5年度からどのような形式になるかお話いただきたい。

【菊池評議員】

それでは、第1号議案の際に、追加の説明があればお願いします。

報告事項3「事務局組織体制の一部変更について」

及川事務局次長が報告した。
議長が報告について質問、意見を求めた。

【澤里副市長】

宮古市に常勤となる人数について、現在の人数から何人変わるか。

【高橋 DMO 事業部長】

宮古市移転に伴い、スタッフを増員する予定である。現在、国の事業を採択予定であり、まだ確定はしていないが、観光プロデューサーを現在1名のところ2名に。事務スタッフを何名か追加。併任している者もいるので、正確にお答えできないが、増員はそのようになっている。

【菊池評議員】

盛岡市駐在と記載の人が盛岡に残るが、それ以外は宮古市ということ。人数は増えるが、色々ありまだ確定していないということによろしいか。

【高橋 DMO 事業部長】

はい。

【澤里副市長】

これから確定していくという理解でよろしいか。

【高橋 DMO 事業部長】

はい。

その他、特に発言はなく、直ちに議案の審議に入った。

第1号議案「令和4年度事業計画及び収支予算について」

議長は、第1号議案について事務局に説明を求め、本多総務管理部長が説明した。

議長が、第1号議案について質問、意見を求めた。

【桐田評議員】

収支予算書内の「助成金支出」についてだが、参考資料4を見ると、令和3年度は予算4,540万円に対し、交付決定額が4,021万円ということで、令和4年度の4,100万円は実績を勘案した予算計上したと推測するが、これはこれで道理が通ると思っている。

一方で、お願いになるが、令和4年度は、令和3年度のコロナの状況が改善する可能性もないわけではないと思うので、申請件数が増える可能性もあるのではないか。そういった活用を掘り起こす必要もあるのではと考える。4,100万円を超えるような申請額が来た際は、柔軟に対応していただくようお願いしたい。

【本多総務管理部長】

予算については、ご指摘のとおり、これまでの実績や執行率を踏まえながら、予算額を計上しているところ。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている部分もあり、ポストコロナの経済的な回復に寄与するという時期でもあるので、イベント開催事業については、令和3年度と同額を計上し、交流人口の拡大やイベント開催を支援し、経済活動の活性化を図ってまいりたいと考えている。

【桐田評議員】

議案書6ページの財産運用計画だが、この資料の真意は。

【箱石業務執行理事】

さんりく基金の現在の資産が6億円余り。そのうち基本財産が3億円余。これまで単年度約1億円切る程度で取り崩し、事業を進めてきた。来年度も9千万円弱の取り崩しということで、このままのペースでいくと、令和6年度末で事業に使える財源が枯渇するという見通し。これまでも三陸の総合振興体制について検討し、なかなか具体的な議論が進んでないが、令和6年度という一つの目安を見据えながら、令和4年度、5年度に、評議員の皆様、市町村の皆様と具体的な検討についてご相談させていただきたい。現時点で結論やスケジュールが確定しているわけではない。これから議論を始めたい。

議長が、他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第1号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

議長はその他事項について意見を求めたが、特に発言はなくその他を終了した。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等が終了したので、議長は午後2時10分閉会を宣し、散会した。本日のWeb会議システムを用いた評議員会は、終始異状なく議題の審議を終了した。

8 議事録作成者 業務執行理事兼事務局長 箱石 知義